



会津果樹情報 5月号

☆摘果・病害虫防除は計画的に実施してください！☆



令和7年5月16日

福島県会津農林事務所 農業振興普及部
(TEL 0242-29-5307)

J A会津よつば あいづ西部営農経済センター

1 4月以降の気象概況

表1 月別気象表(会津若松市)

月	半旬	平均気温(°C)			最高気温(°C)			最低気温(°C)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比(%)	本年	平年	平年比(%)
4	1	7.6	7.2	0.4	11.2	13.3	-2.1	4.6	1.9	2.7	12.0	11.0	109.1	17.9	26.9	66.5
	2	10	8.4	1.6	16.5	14.7	1.8	4.6	2.8	1.8	8.5	10.5	81.0	18.6	27.5	67.6
	3	10.8	9.5	1.3	15.9	16.1	-0.2	7.0	3.7	3.3	14.5	10.5	138.1	12.3	28	43.9
	4	14.1	10.7	3.4	22.3	17.3	5.0	7.3	4.8	2.5	13.0	11.0	118.2	28.9	28.2	102.5
	5	14.9	11.8	3.1	22.1	18.4	3.7	9.3	5.9	3.4	3.5	11.0	31.8	28.7	29.2	98.3
	6	12.2	13	-0.8	19.0	19.7	-0.7	6.4	6.7	-0.3	3.5	10.5	33.3	29.9	31.5	94.9
平均・合計		11.6	10.1	1.5	17.8	16.6	1.3	6.5	4.3	2.2	55.0	64.5	85.3	136.3	171.3	79.6
5	1	14.1	14.1	0.0	19.9	21.0	-1.1	7.6	7.7	-0.1	19.5	10.6	184.0	28.2	32.6	86.5
	2	13.9	14.9	-1.0	20.0	21.7	-1.7	7.8	8.7	-0.9	40.5	11.8	343.2	22.6	31.9	70.8
	3	16.3	15.5	0.8	22.4	22.0	0.4	10.7	9.7	1.0	5.0	13.6	36.8	29.6	31.2	94.9
平均・合計		14.8	14.8	-0.1	20.8	21.6	-0.8	8.7	8.7	0.0	65.0	36.0	180.6	80.4	95.7	84.0

会津若松市における4月の平均気温は11.6°C(平年比+1.5°C)で、降水量は55.0mm(平年比85.3%)、日照時間は136.3時間と平年より少なくなりました。5月の1半旬~3半旬の平均気温は14.8°Cで平年並、降水量は65.0mmで平年よりも多く、日照時間は80.4時間で平年より少なくなりました。

また、東北地方の1か月予報(5/10~6/9)によれば、暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高く、期間の前半はかなり高くなる見込みです。

2 発育状況(5/15現在、会津若松市)

りんご「ふじ」の満開は4月30日で平年より5日早く、もも「あかつき」の満開は4月22日で平年より3日早く、おうとう「佐藤錦」の満開は4月23日で平年より4日早くなりました。かき「会津身不柿」の発芽は4月12日で平年より3日遅くなりました。

表2 各樹種の発育状況(平年は1986~2024年の平均値)

樹種	りんご	もも	おうとう	かき	
品種	ふじ	あかつき	佐藤錦	会津身不知	
調査地点	北会津町	神指町	北会津町	門田町	
発芽日	本年	3/31	3/28	4/9	4/12(+3)
	昨年	3/31	3/25	4/2	4/8
	平年	4/2	3/27	4/1	4/9
開花日	本年	4/27	4/18	4/18	未
	昨年	4/22	4/12	4/18	5/24
	平年	4/30	4/19	4/22	6/4
満開日	本年	4/30(-5)	4/22(-3)	4/23(-4)	未
	昨年	4/26	4/15	4/24	5/27
	平年	5/5	4/25	4/27	6/8

3 今後の栽培管理

(1) おうとう

ア 摘果

生理落果が起こりやすい「佐藤錦」では、生理落果が終了し果実の肥大差がはっきりしてくる5月下旬頃から、摘果に入るようにしましょう。

(2) もも

ア 摘果

摘らいや摘花を実施しなかった場合や摘らい程度が弱く着果数が多い園地は、予備摘果を実施し、仕上げ摘果は果実肥大に差がつく満開後40日頃（6月1日頃）から実施し、硬核期開始日頃までを目安に実施しましょう。

(3) りんご

ア 予備摘果

1頂芽（1果そう）当たり1果にします。5月下旬までに実施してください。結実が良好な園地では、長果枝や葉の少ない果そう及び肥大不良の果そうの果実は摘除し、着果負荷の軽減を図りましょう。また、えき芽果の着生が多い園地では、早めに摘除しましょう。

なお、予備摘果の際に果柄を取り除くと腐らん病の予防に効果的です。

(4) かき

ア 摘らい・摘花

摘らい・摘花は、5月中旬から実施しましょう。

(5) ぶどう

ア 芽かき

棚より低い位置の新梢は全てかき取ります。また、短梢せん定では生育の良い新梢を1芽座あたり1つずつ残し、それ以外の新梢はかき取ります。

イ 新梢管理

テープナーを使い、主枝延長枝は誘引線に沿ってまっすぐに誘引し、それ以外の新梢は棚線に誘引できるくらいに伸びたら、随時、主枝から垂直に誘引します。

ウ 巻きひげの除去

巻きひげ（図1）は巻きつくと誘引作業の妨げになるだけでなく、晩腐病の発生源になります。巻きつく前に誘引を行いながら除去しましょう。



図1 巻きひげ

エ 簡易雨よけの設置

簡易雨よけ栽培や施設栽培を導入してください（ぶどうに発生する病害の多くは降雨により伝染します！）。

4 各種病害虫対策

(1) 樹種共通

生育が平年と比べて3～5日程度早まっていますので、農薬による防除は生育ステージに合わせて遅れずに実施ください。

(2) りんご

ア リンゴ黒星病

最重点防除時期は、展葉期から落花 20 日頃までです。この期間の薬剤散布間隔が 10 日以上空きすぎないように注意し、散布ムラのないよう十分な量を散布しましょう。

イ リンゴ褐斑病

本病原菌は主に罹病落葉で越冬し、翌年5～6月に子のう胞子が飛散します。落花直後と落花 30 日後に本病に効果のある薬剤を散布して初期の感染を抑えましょう。

(3) もも

ア モモせん孔細菌病

春型枝病斑の発生を見つけたら可能な限り基部まで切り戻すなど、徹底的にせん除しましょう。芽や新梢葉に生育不良が見られたら感染を疑い、病斑の有無を確認してください。

イ 灰星病

花腐れは果実への伝染源となるため、花の枯死やヤニの噴出を目印にして、見つけしだいせん除しましょう。せん除した枝は必ず園外に持ち出し、菌密度の低下に努めましょう。

本病は、ももの他、おうとう、すもも、あんずに発生します。園地周辺の花腐れの発生にも注意し、被害の拡大を防止しましょう。

(4) かき

ア 落葉病

昨年、落葉病の発生が多かった場合は、開花直前の防除を遅れずに実施してください。また、梅雨期間の薬剤散布間隔が 15 日以上空かないように、天気予報を見て、晴れ間を狙って散布してください。

イ フジコナカイガラムシ (図2)

管内全域で、発生が見られています。

発生園では、5月中旬頃までに薬剤防除を実施してください。散布ムラが生じないように、SSはゆっくり走行しましょう。

※7月以降、成虫まで成長すると、薬剤による防除が

難しくなるため、5月に必ず防除しましょう。

図2 フジコナカイガラムシ



○近年、農業災害が多発しています。農業保険(農業共済・収入保険)に加入しましょう！

○春の農作業安全運動(令和7年4月1日～5月31日)実施中！

農繁期の4～5月は農作業事故が発生しやすい時期です。特に摘らい・摘果時の落下防止に気をつけましょう！！